



2025年3月期

決算説明資料

日本信号株式会社（証券コード：6741）

2025年 5 月14日



 日本信号株式会社
NIPPON SIGNAL CO., LTD.

Copyright © NIPPON SIGNAL CO.,LTD. All Rights Reserved.

決算のポイント

(単位：億円)	2024/3 実績	2025/3 実績	前期比		2026/3 通期予想	2025/3比	
			増減	増減率		増減	増減率
売上高	985	1,068	+83	+8.4%	1,080	+11	+1.1%
営業利益	68	99	+30	+45.2%	100	+0	+0.9%
経常利益	78	107	+28	+36.7%	108	+0	+0.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	53	85	+31	+59.1%	75	▲10	▲11.8%

■ 2025年3月期通期連結決算

新紙幣対応案件や海外案件の売上拡大等により、**3期連続の増収、2期連続の増益**

■ 株主還元（1株当たり配当金）

2025年3月期：年間 43円（中間配当 10円、期末配当33円、**12円増配**） 配当性向 31.5%

■ 2026年3月期通期予想

・ **売上高 1,080億円、営業利益 100億円、経常利益 108億円、当期純利益 75億円**

売上高、営業利益、経常利益は2025年3月期と同程度を見込むが、当期純利益は2025年3月期には特別利益が含まれたため、減益を見込む

・ **配当金：年間 43円**（中間配当 13円、期末配当30円）※配当金額は維持

売上高・利益推移

売上高増収、各段階利益も全て増益。

新紙幣対応案件、前期受注の海外大型案件が寄与し、売上高が増加。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも過去最高。

(単位：億円)	2021/3	22/3	23/3	24/3	25/3	前期比
売上高	927	850	854	985	1,068	+83
営業利益	57	53	51	68	99	+30
経常利益	64	65	59	78	107	+28
親会社株主に帰属 する当期純利益	49	45	40	53	85	+31

セグメント別①売上高・セグメント利益

- 交通運輸インフラ事業 : 海外鉄道信号の売上が伸びたものの、開発費等の負担が増加し、前期比で増収減益。
- ICTソリューション事業 : 主に国内AFC案件の増加により、前期比で増収増益。

(単位：億円)	2023/3		2024/3		2025/3		前期比	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
交通運輸インフラ事業	470	51	539	62	565	45	+26	▲16
ICTソリューション事業	384	33	446	39	502	89	+56	+49
全社費用	—	▲33	—	▲33	—	▲35	—	▲2
合計	854	51	985	68	1,068	99	+83	+30

セグメント別②受注高・売上高・受注残高

(単位：億円)	2024/3			2025/3			前期比		
	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高
鉄道信号	748	466	825	416	478	762	▲331	+12	▲62
スマートモビリティ	81	73	16	93	86	23	+11	+13	+6
交通運輸インフラ事業	830	539	841	510	565	786	▲319	+26	▲55
AFC	428	346	225	373	388	210	▲55	+41	▲14
R&S	126	99	45	120	114	51	▲6	+15	+5
ICTソリューション事業	555	446	270	494	502	262	▲61	+56	▲8
合計	1,385	985	1,112	1,004	1,068	1,048	▲381	+83	▲64

鉄 道 信 号 海外の大型案件受注が減少し、受注減。昨年度受注案件が進捗し売上増。

スマートモビリティ パーキングメーター・チケットやMVNO※の拡販等による受注、売上増。

A F C 駅務機器、駐車場機器の新紙幣対応により、受注は減少したものの高水準を維持し、売上は増加。

R & S ロボティクス、センシングなどが堅調に推移したものの、受注は減少し、売上は増加。

※MVNO(Mobile Virtual Network Operator) …回線提供サービス事業

セグメント別③国際事業の状況

(単位：億円)	2024/3			2025/3			前期比		
	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高	受注高	売上高	受注残高
海外 交通運輸インフラ	353	108	584	87	137	534	▲265	+28	▲49
海外 ICTソリューション	0	6	42	0	3	38	▲0	▲3	▲3
海外合計	354	115	626	87	141	572	▲266	+25	▲53

海外 交通運輸インフラ

前期は大型受注（台湾花東線）があったため、受注・受注残は前期比減。
売上は案件が進捗し増加。

海外 ICTソリューション

売上はベトナム ホーチミンAFCシステムなど。

海 外 全 体

受注残高は高水準を維持し、売上高は過去最高。

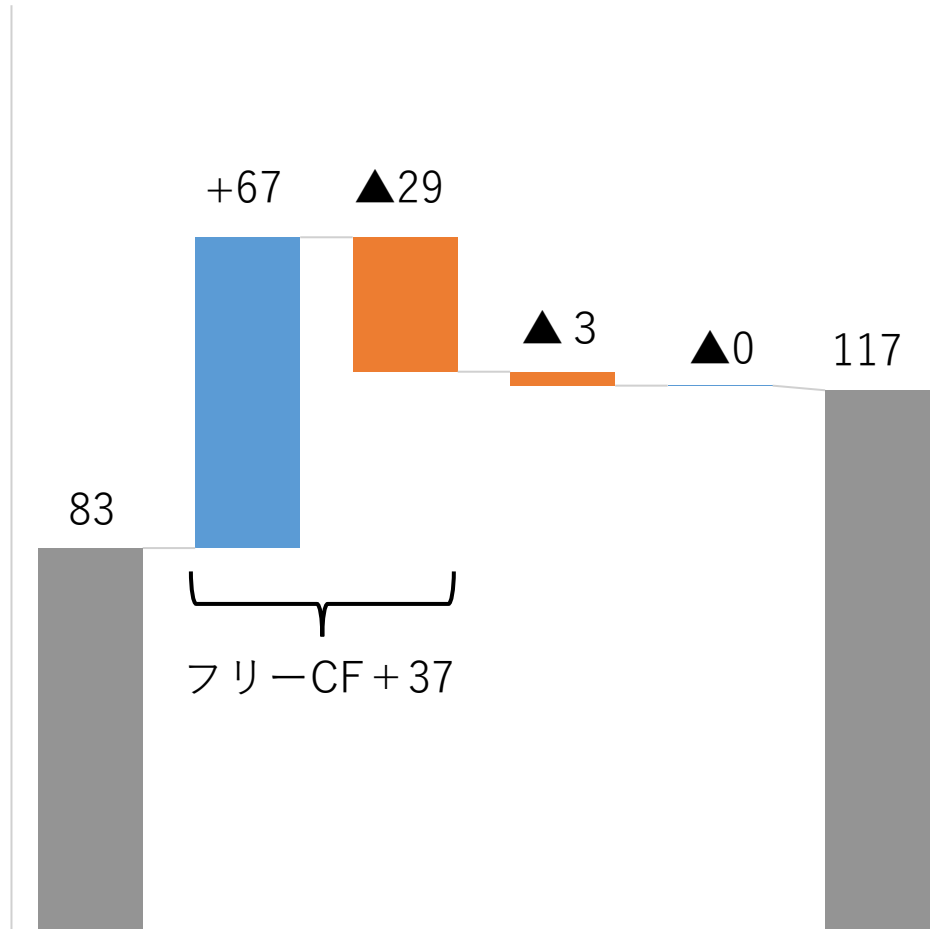
財政状況

(単位：億円)	2024/3	2025/3	
		実績	前期比
総資産	1,652	1,662	+9
有利子負債	187	192	+5
自己資本	968	1,026	+58
自己資本比率	58.6%	61.7%	+3.1pt
ROE	5.7%	8.5%	+ 2.8pt
ROIC	4.6%	6.9%	+ 2.3pt
PBR	0.67倍	0.54倍	▲0.13pt
(参考)年度末株価	1,038円	895円	▲143円

キャッシュフローの状況

投資活動（MVNOなど）によるキャッシュアウトが増加したが、フリーキャッシュフローは黒字を維持。

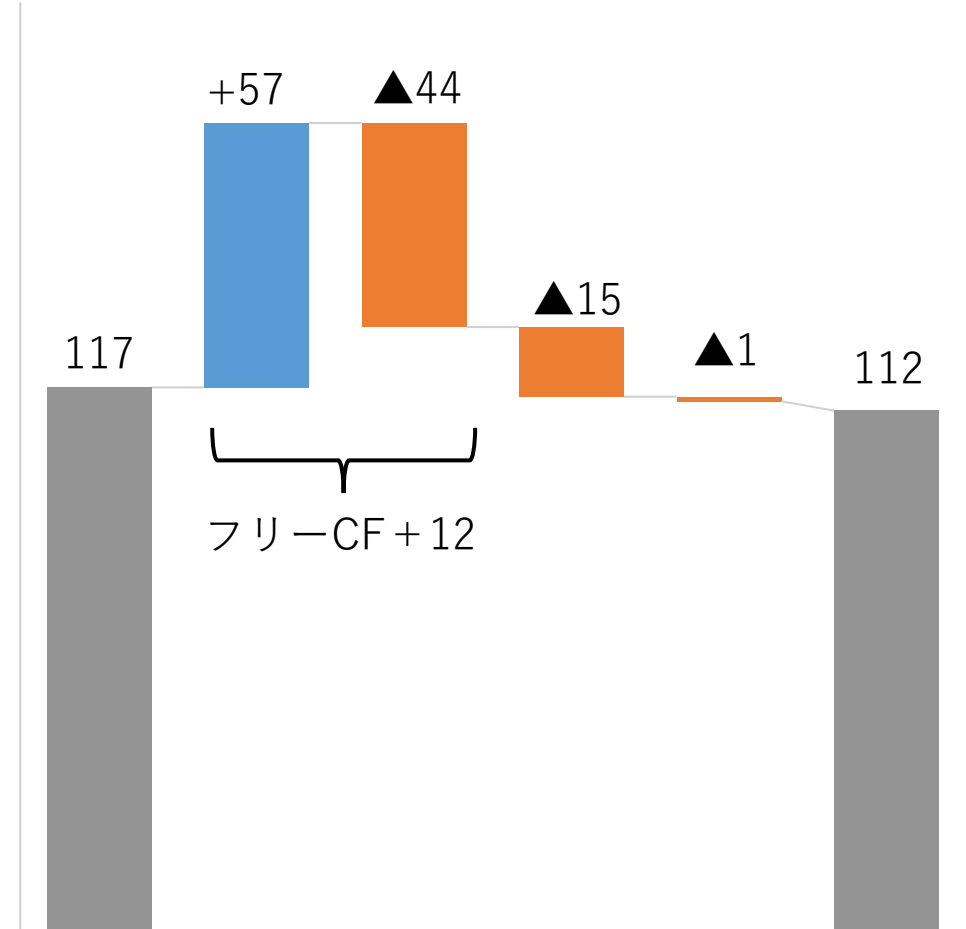
(単位：億円)



期首残高 営業活動 投資活動 財務活動 換算差額 期末残高

2024/3

(単位：億円)



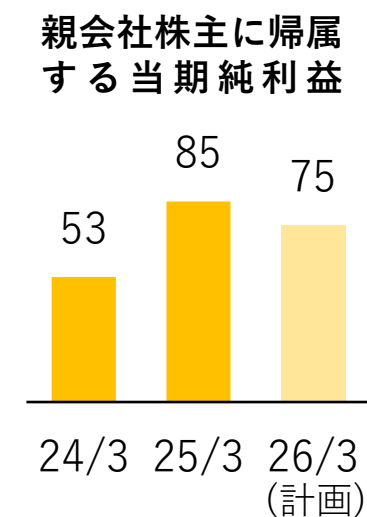
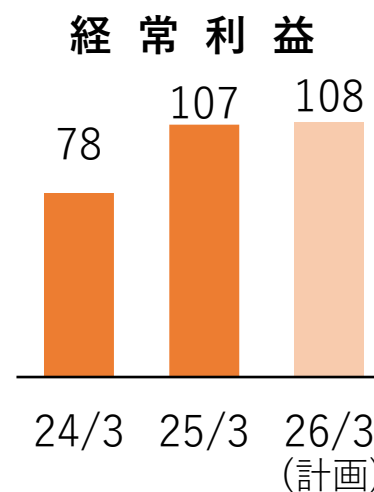
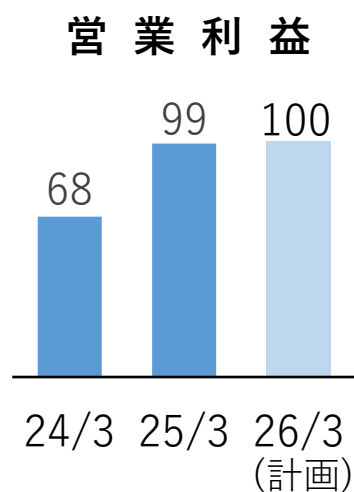
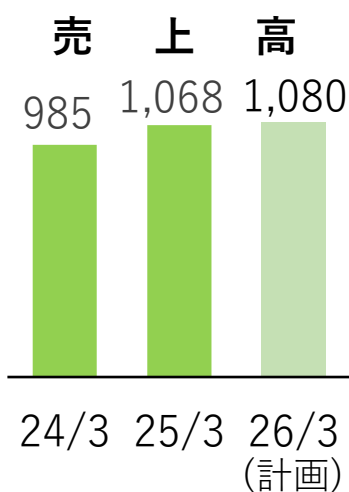
期首残高 営業活動 投資活動 財務活動 換算差額 期末残高

2025/3

2026年3月期通期計画

計画

(単位：億円)	2024/3	2025/3	2026/3	
			計画	前期比
売上高	985	1,068	1,080	+11
営業利益	68	99	100	+0
経常利益	78	107	108	+0
親会社株主に帰属 する当期純利益	53	85	75	▲10



受注高・売上高推移（鉄道信号）

計画

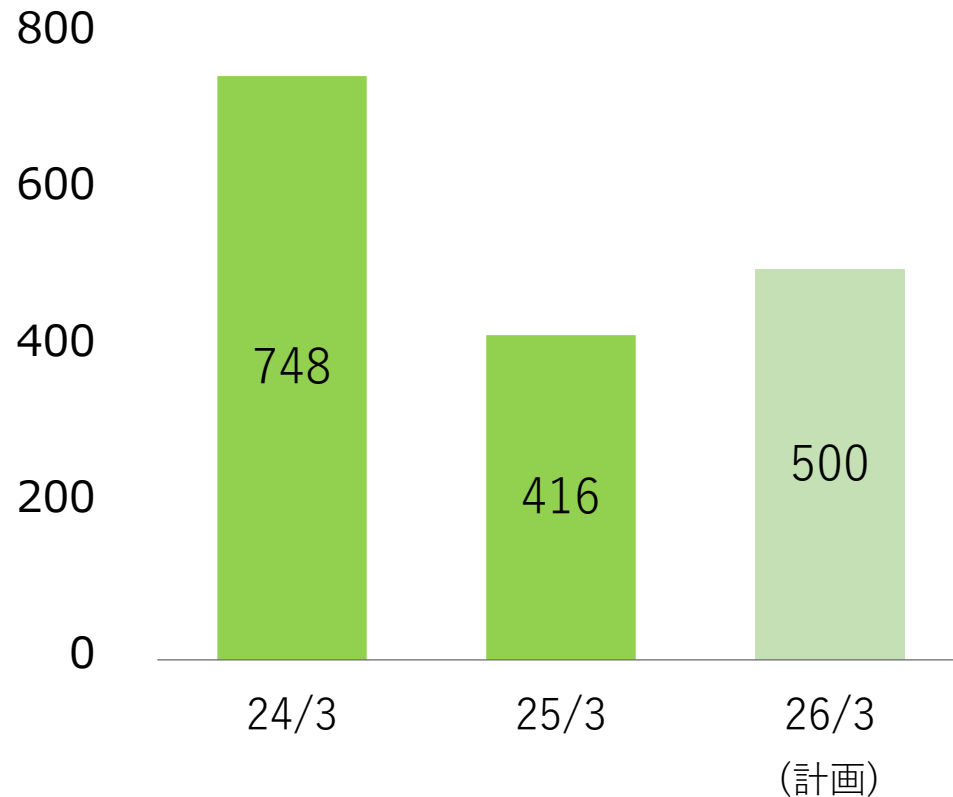
鉄道信号事業

メンテナンスの省力化や検査効率の向上に資する製品開発と全国展開により、今後も引き続き安全で快適な移動の実現を図る。

主な事業内容：自動列車制御装置（ATC）、無線式列車制御システム（SPARCS）ほか

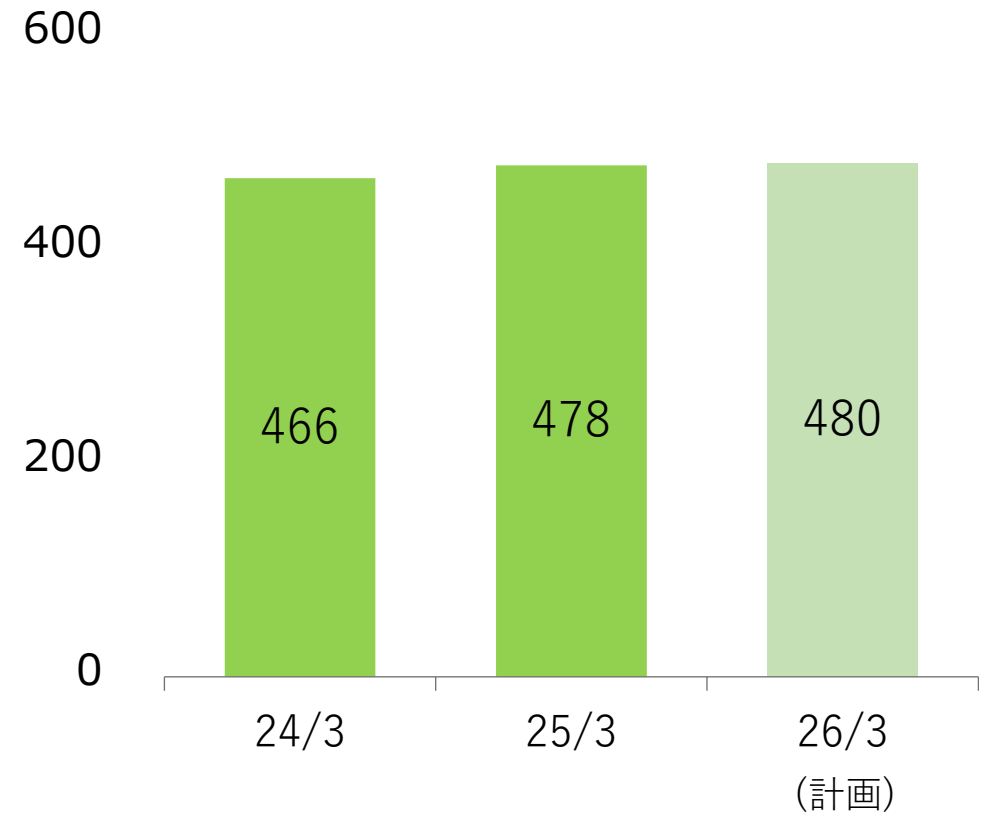
受注高

（億円）



売上高

（億円）



受注高・売上高推移（スマートモビリティ）

計画

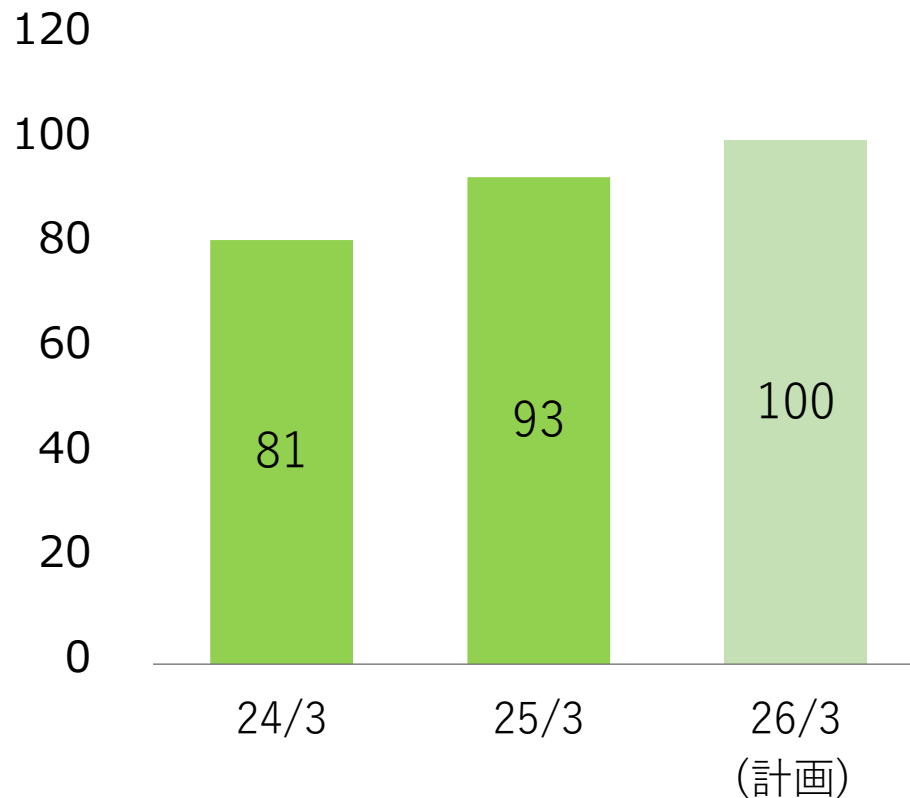
スマートモビリティ事業

自動運転実証実験の各種プロジェクトにも積極的に参画し、自動運転車両と道路の信号機や路側センサを連携した「インフラ協調」を支える製品、技術のプロバイダを目指す。

主な事業内容：交通管制システム、交通信号制御機・灯器 ほか

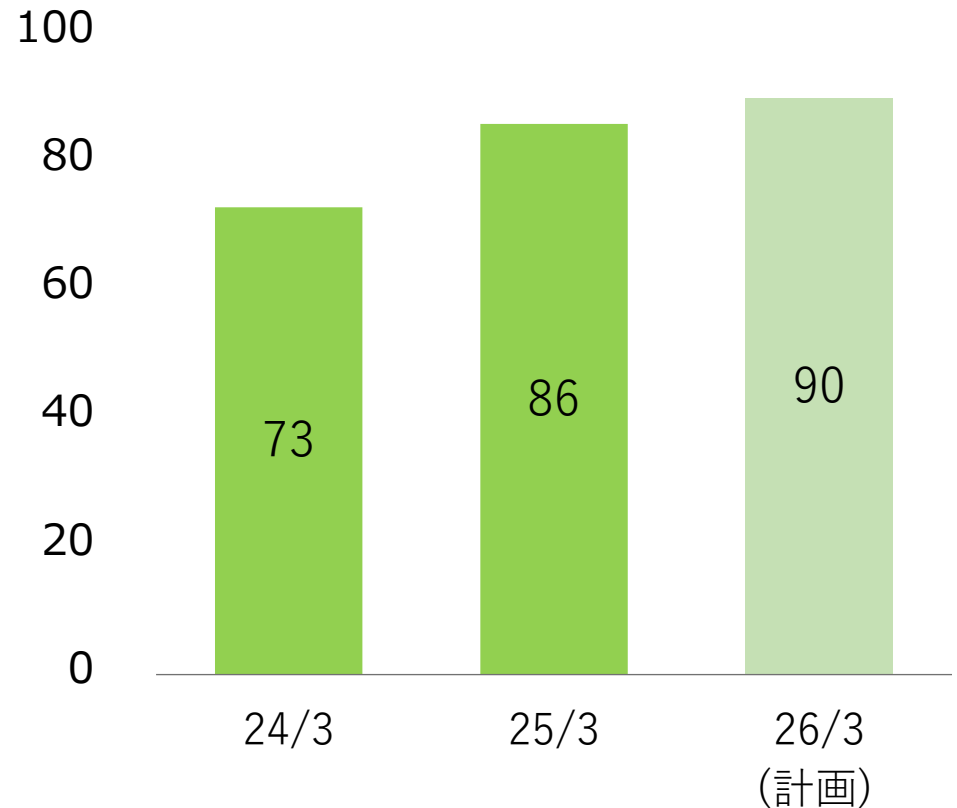
受注高

(億円)



売上高

(億円)



受注高・売上高推移（AFC）

計画

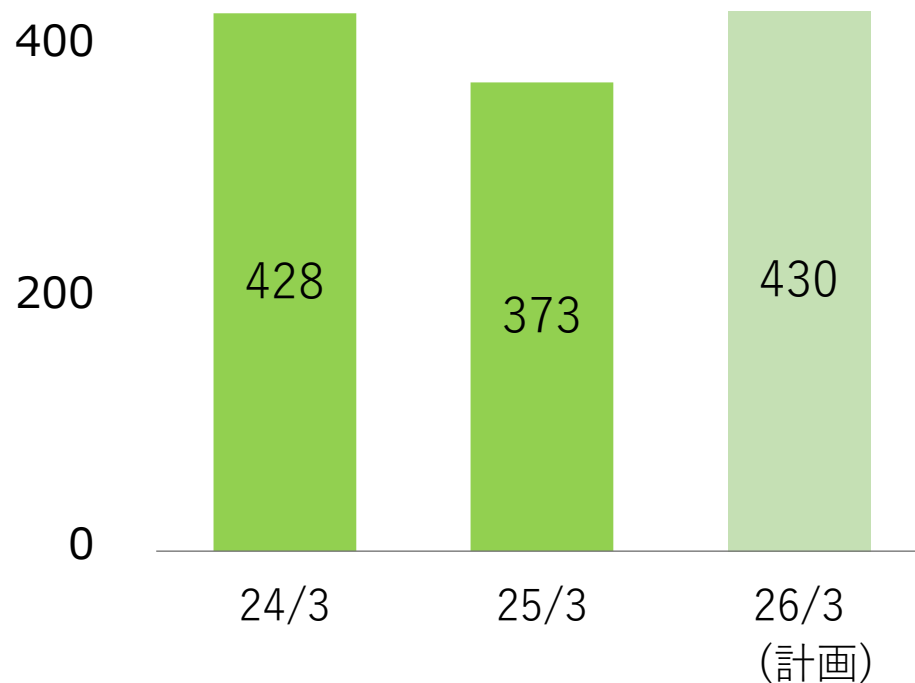
A F C 事業

クレジットカードやデビットカード等のタッチ決済及びQRコード認証を用いた新しいキャッシュレス乗車サービスについて実証実験に取り組む。

主な事業内容：自動改札機、ホームドア、駐車場管理システム ほか

受注高

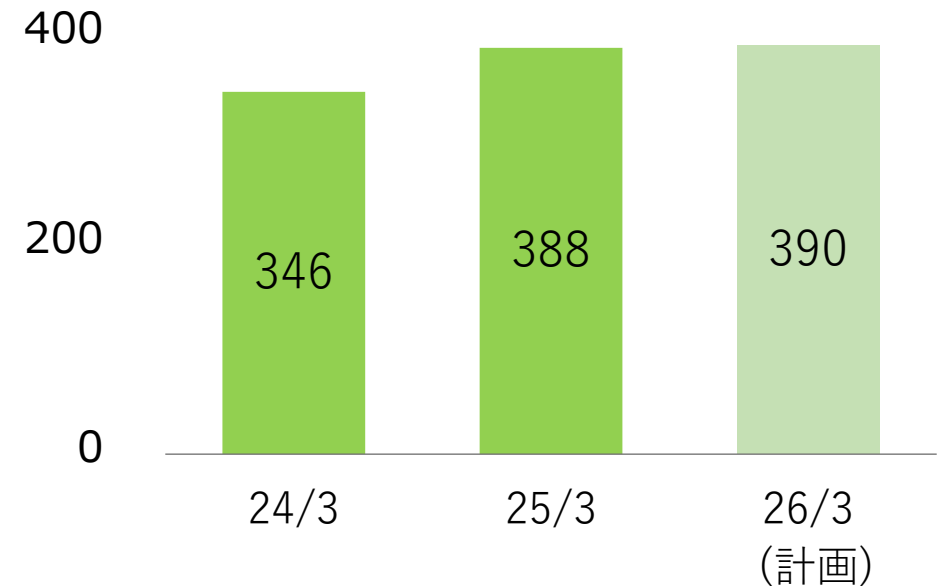
（億円）



売上高

（億円）

600



受注高・売上高推移（R&S）

計画

R & S 事業

センサ、画像分析等のコア技術に最新のロボティクス技術を融合させ、人とロボットが協働する未来社会の実現を推進する。

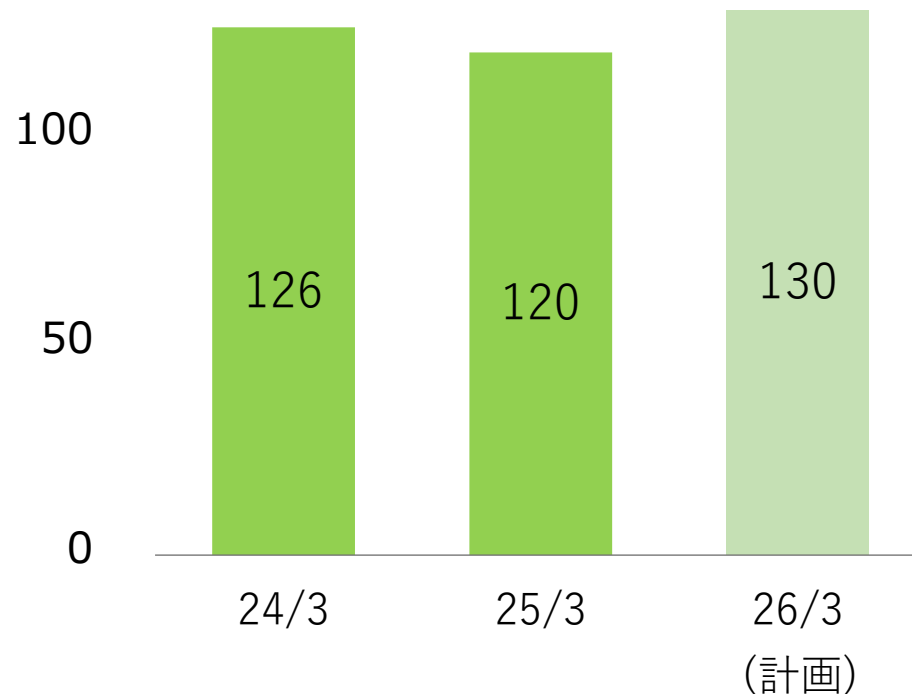
※R&S・・・Robotics（ロボティクス）& Sensing（センシング）

主な事業内容：ロボティクス、3D距離画像センサほか

受注高

(億円)

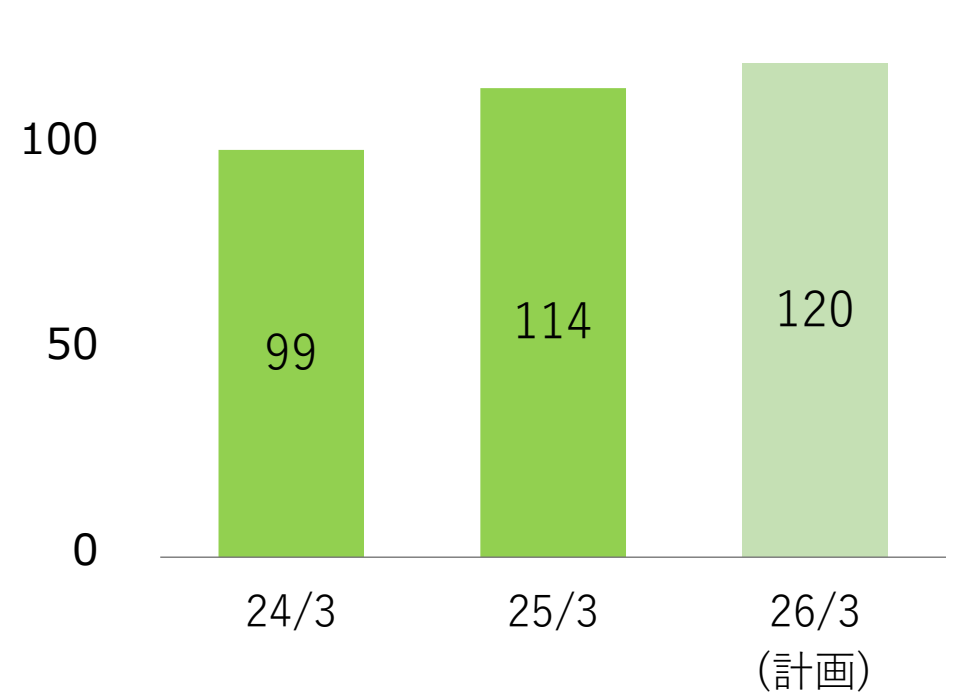
150



売上高

(億円)

150

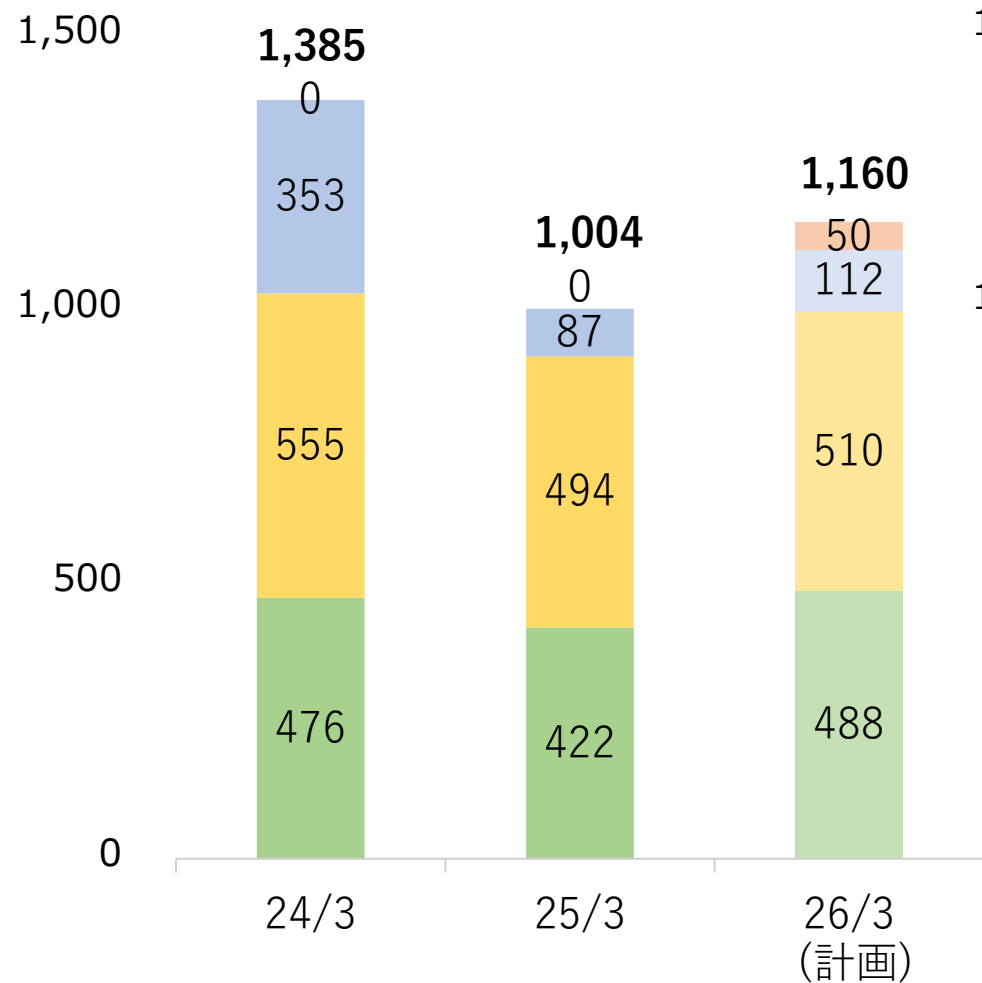


受注高・売上高推移（国内・国際事業別）

計画

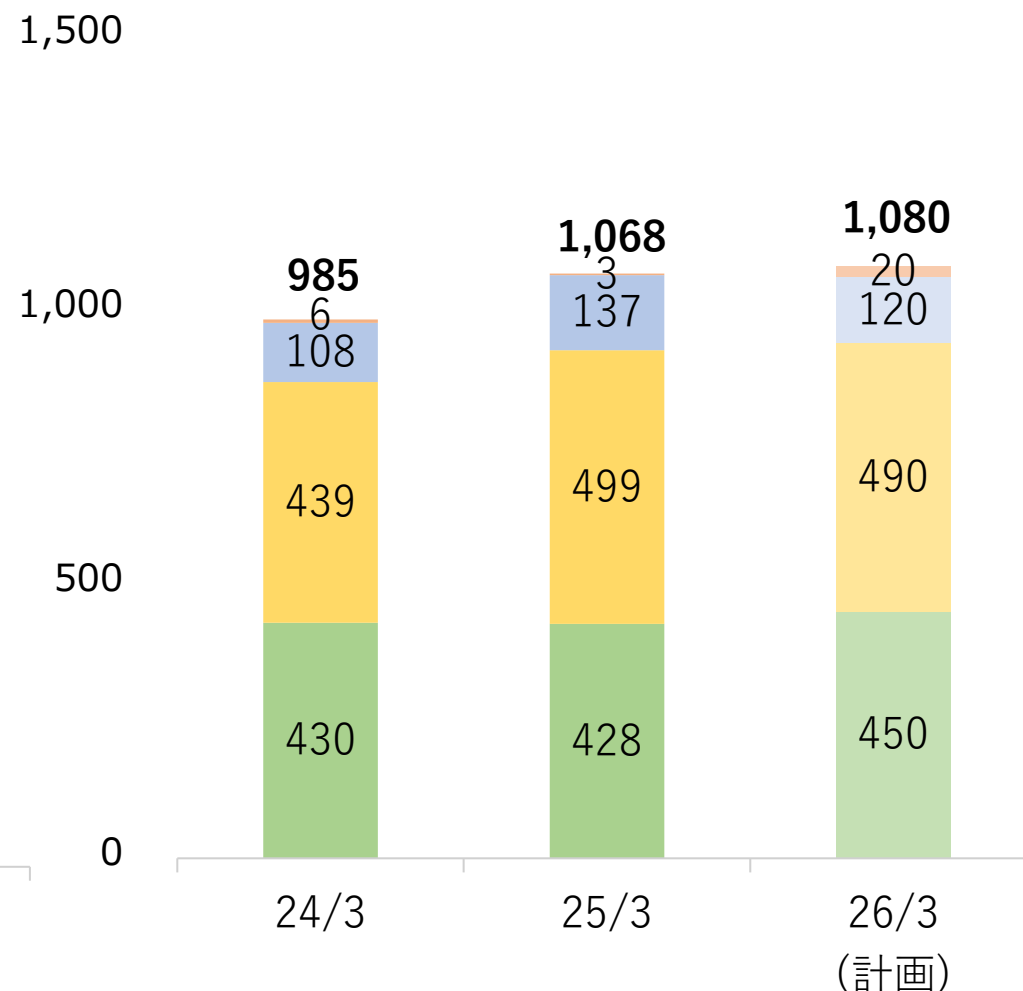
受注高

（億円）



売上高

（億円）



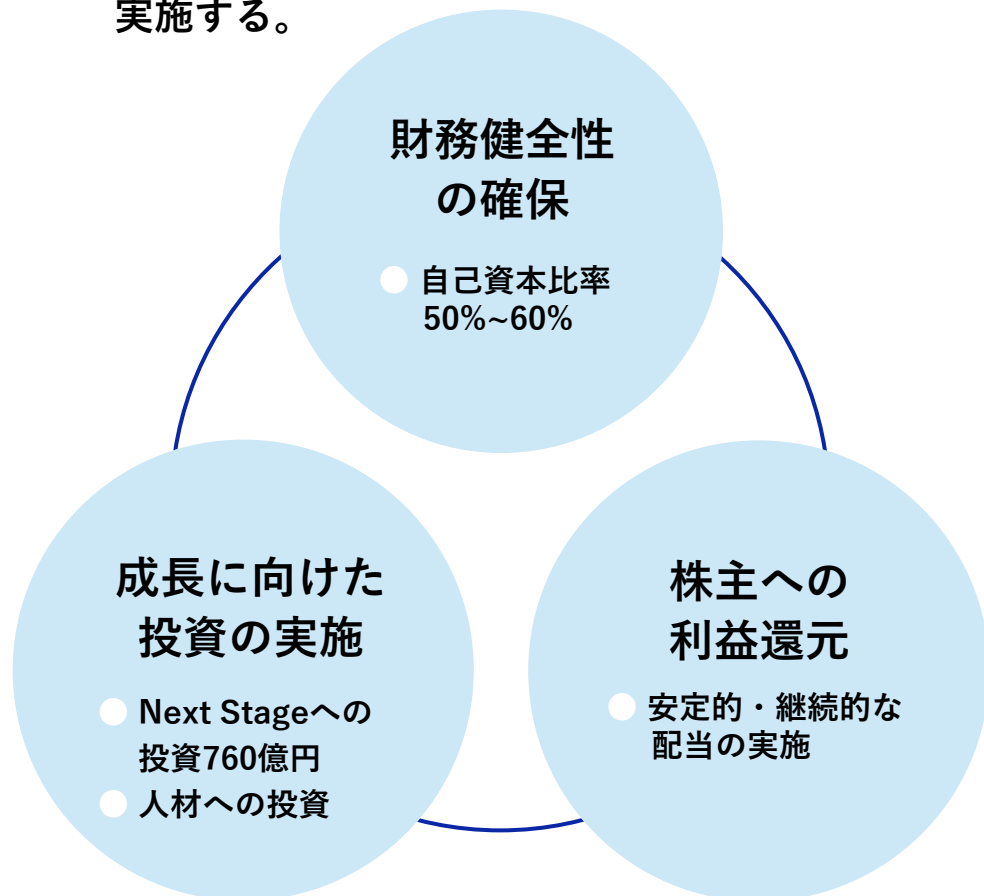
セグメント別利益

計画

(単位：億円)	2024/3	2025/3	2026/3	
			計画	前期比
交通運輸 インフラ事業	62	45	57	+11
ICTソリューション 事業	39	89	79	▲10
全社費用	▲33	▲35	▲36	▲0
合計	68	99	100	+0

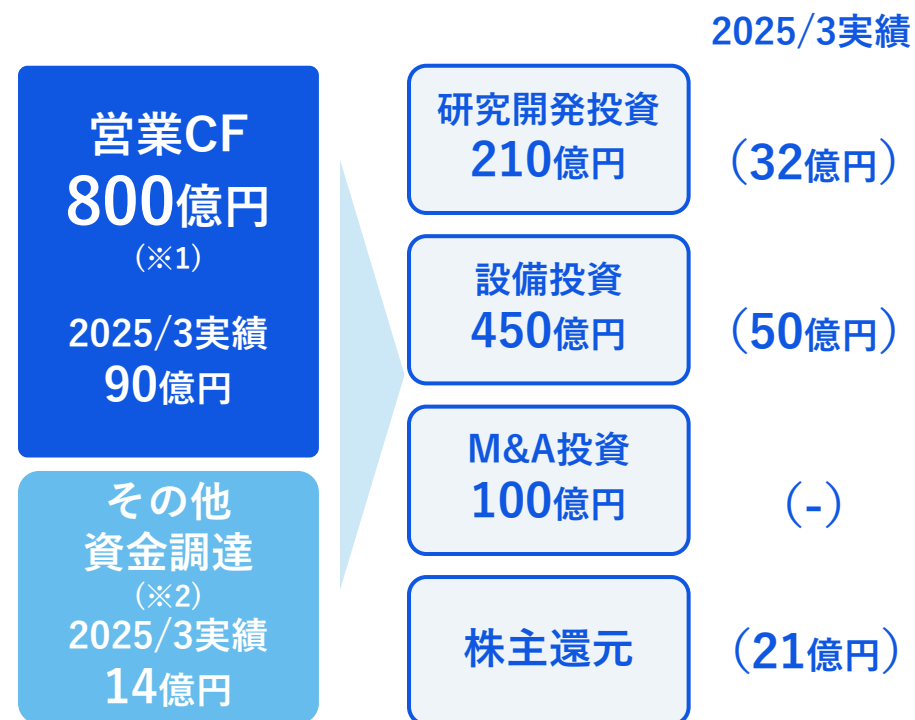
基本方針

企業継続のため、財務健全性を確保しつつ、成長投資と株主の利益還元をバランスよく実施する。



キャッシュアロケーション計画 (中計期間累計)

中計期間における営業キャッシュフローを元手に、成長領域に対し、積極的な投資を行う。

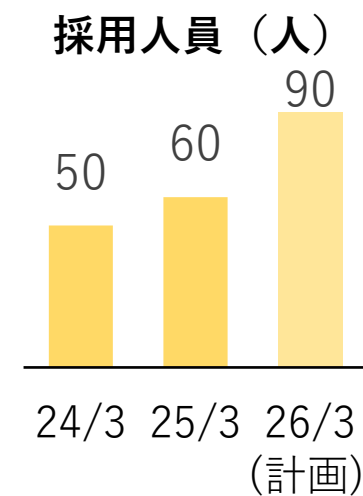
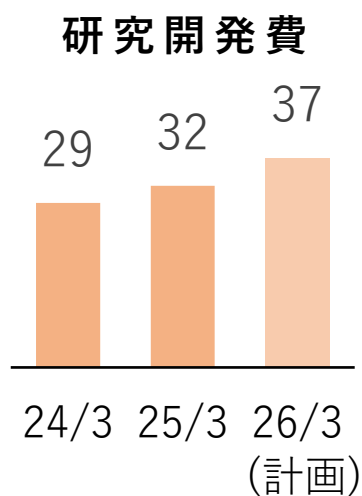
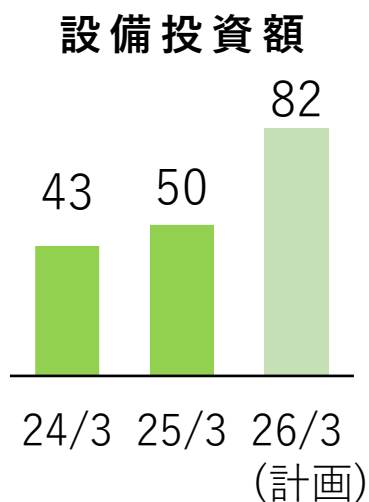


※1：研究開発費控除前

※2：借入および政策保有株式売却

(単位：億円)	2024/3	2025/3	2026/3	
			計画	前期比
設備投資額	43	50	82	+31
研究開発費	29	32	37	+4
採用人員（人）※	50	60	90	+30

※採用人員は当社単体



利益還元（配当金）について

計画

- 原則として、連結配当性向 30% 以上、下限指標 D O E 2.0% を当面の目標と設定。
上記方針に基づき 2025 年 3 月期は年間配当 43 円、2026 年 3 月期も年間配当 43 円を維持。

2024年3月期

年間31円

第2四半期末 7円
期 末 24円

配当性向 36.2%
D O E 2.1%
配当利回り 2.99%

2025年3月期

年間43円

第2四半期末 10円
期 末 33円

配当性向 31.5%
D O E 2.7%
配当利回り 4.80%

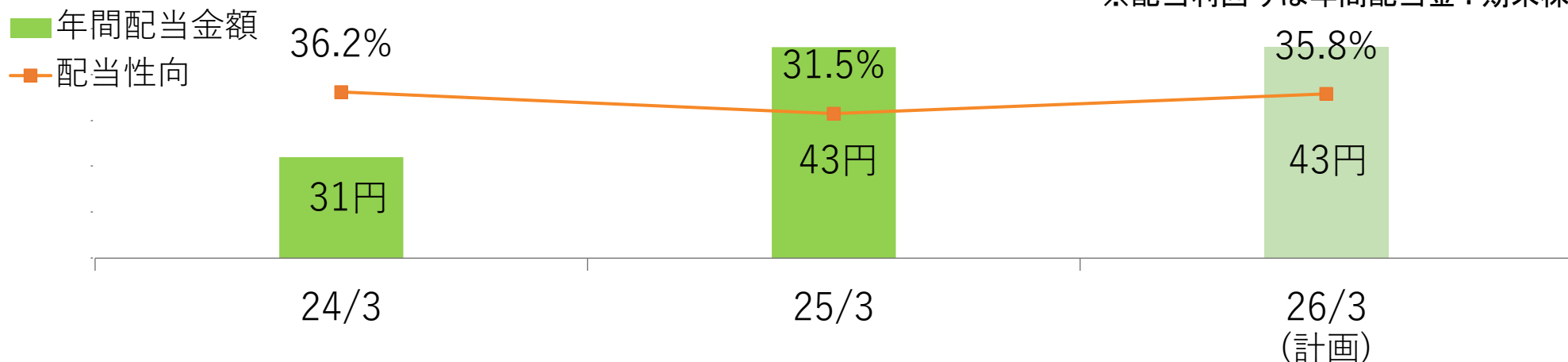
2026年3月期(計画)

年間43円

第2四半期末 13円
期 末 30円

配当性向 35.8%
D O E 2.6%

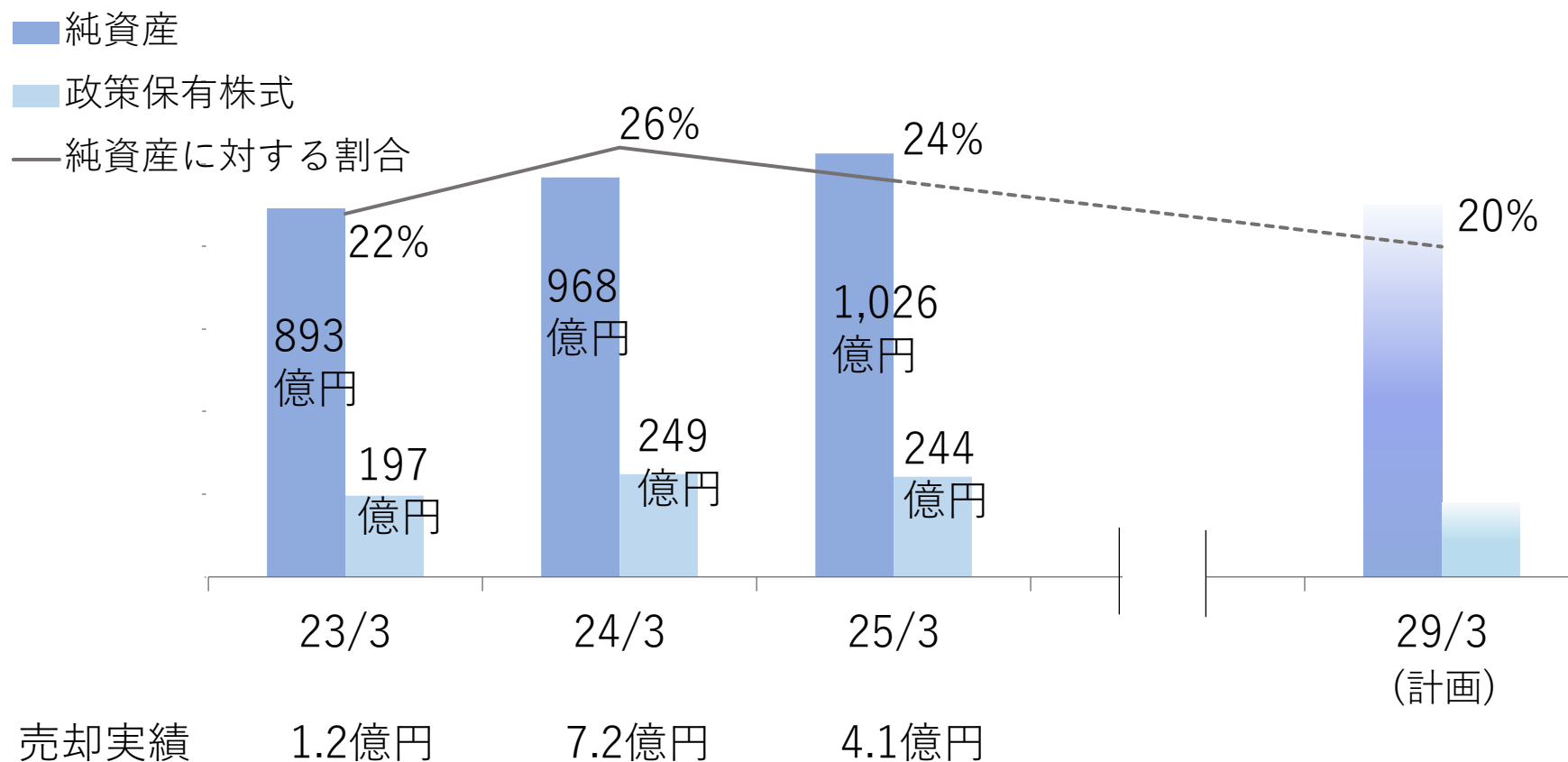
※配当利回りは年間配当金÷期末株価で算出



政策保有株式の縮減に向けた状況

計画

- 企業価値向上に向けた資本効率の更なる向上を図るため、2029年3月末時点における連結純資産合計に対する政策保有株式の保有割合を20%以下にすることを目指す。
売却によって得た資金は、成長分野への投資や設備投資などに有効活用する。



Osaka Metro 夢洲駅 開業

17台の自動改札機(QR・タッチ決済対応)、
8台の自動精算機、TASC制御装置等他を納入
※TASC (Train Automatic Stop-position Controller) … 定位置停止装置



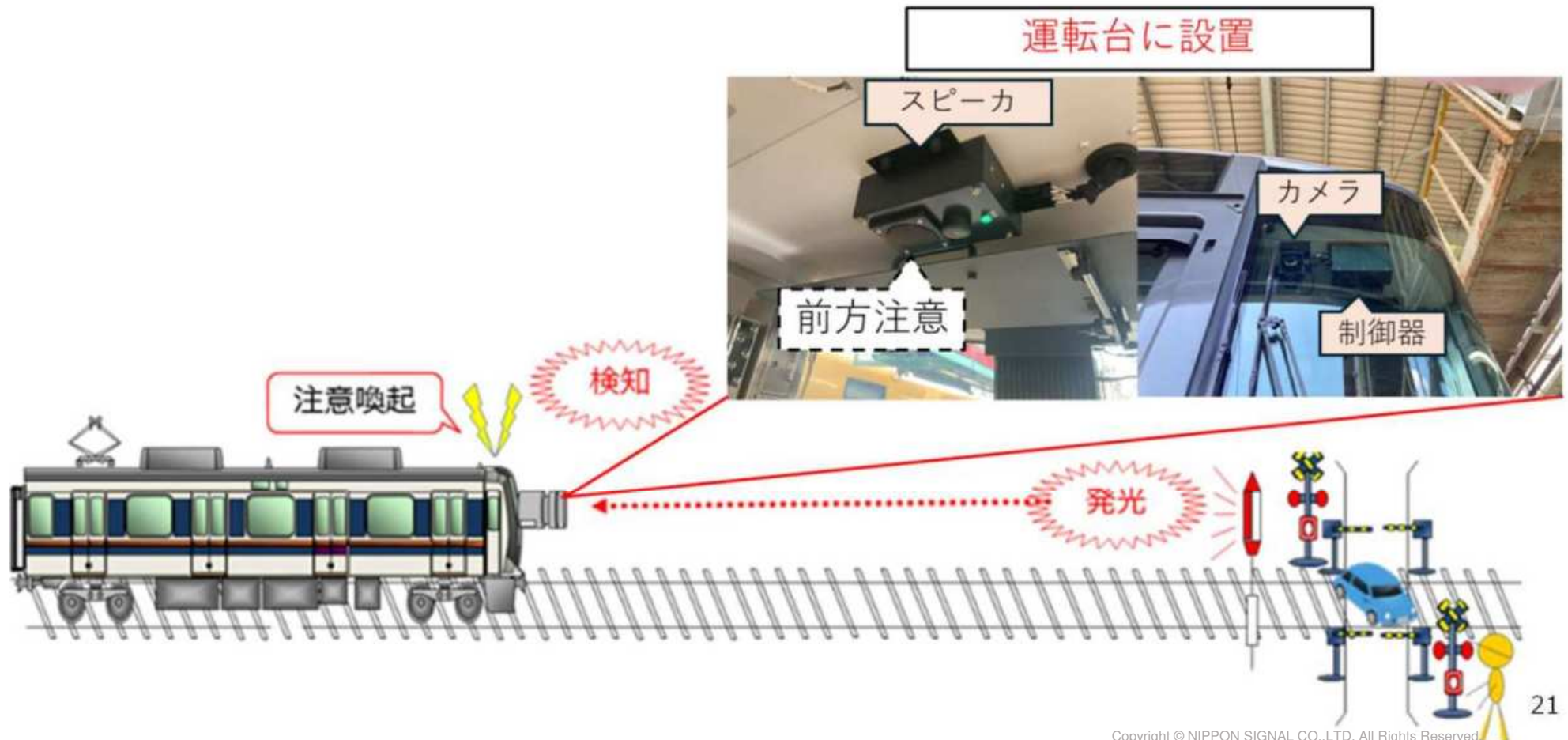
J R 松山駅付近高架化工事が完了

継電連動装置を納入



西日本旅客鉄道向け特発音声支援装置を導入

列車の先頭に設置したカメラ映像から特殊信号発光機の赤色発光を識別して検知し、乗務員に音声で通知



伊豆箱根鉄道大雄山線 無線式列車制御システム開発

軌道回路等の地上設備を削減可能
保守点検の省力化を目指す
(2031年度にシステム導入予定)



車上無線機アンテナ（赤丸部）



地上無線機アンテナ（赤丸部）

東海道新幹線 新幹線発車標 使用開始

今後5年間で東京駅から新大阪駅までの全駅に納入
大きくて見やすい55インチLCDを2台使用



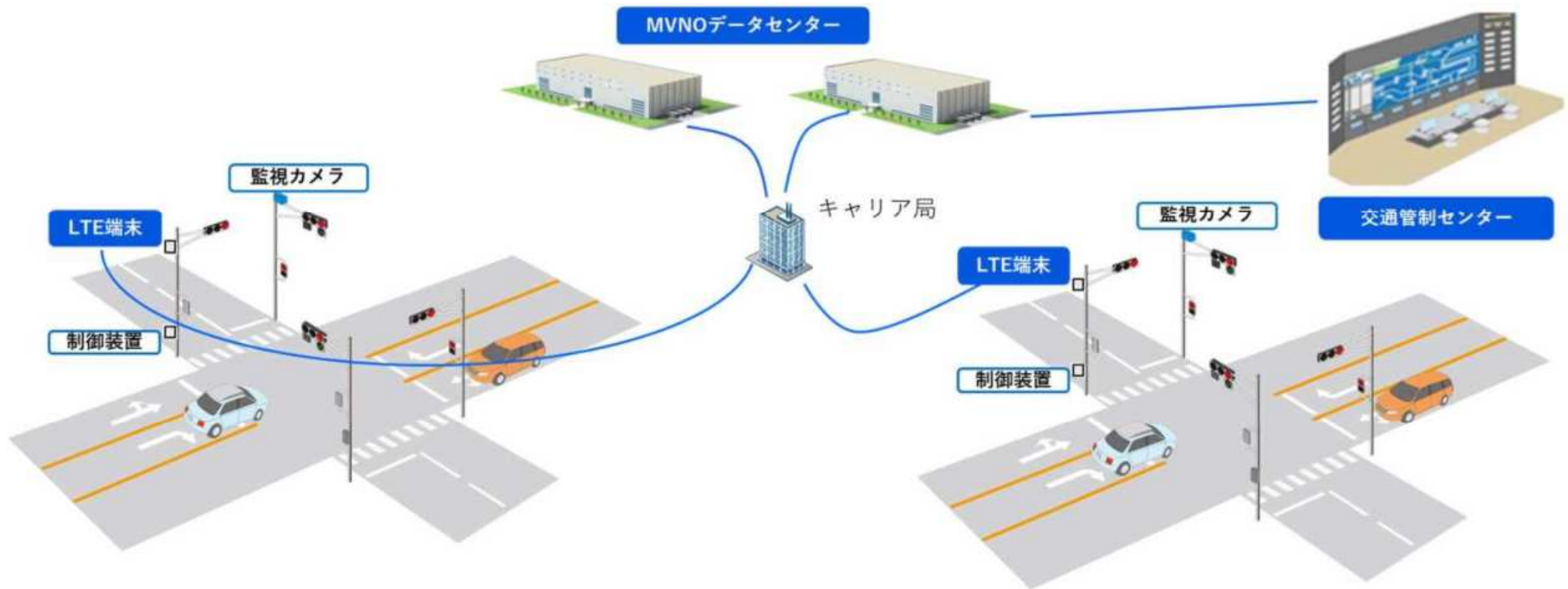
長野県塩尻市で自動運転実証実験を実施

信号機から自動運転車両へ、信号機の色や信号機の色が切り替わるまでの残時間など信号情報を配信



MVNOサービスの拡販

交差点での映像をMVNOで交通管制センターに送信
渋滞緩和、交通事故防止に活用 累計約4,700か所に導入



EMV・QR決済対応改札機の拡販

タッチ決済対応のカードやスマートフォン等による
鉄道乗車は2020年から約80社で導入
(鉄道事業者の実績、検討中も含む)



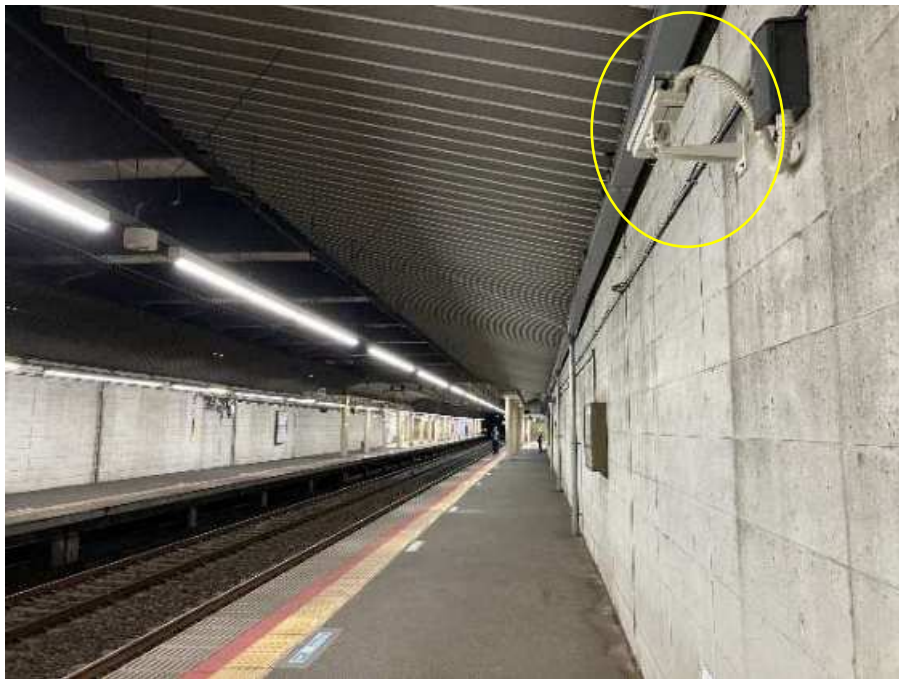
近畿日本鉄道鶴橋駅 ロープ柵運用開始

列車到着案内表示を設けロープの視認性を変更
利便性と安全性を向上



旅客の危険を検出するホーム監視の実証試験を開始

駅係員に代わり駅構内のカメラ画像を解析し
ホーム端歩行や転落など危険な状態を検出



試験用カメラ



ホーム端歩行者の通知画像（イメージ）

セキュリティゲートのラインナップ拡充

新機種「PTG」導入

存在感と空間浸透を両立させるメリハリの利いたデザイン



多機能鉄道重機 社会実装開始

2024年7月、現場での正式稼働開始



地中埋設物探査レーダの拡販

電波・通信技術を応用し、
埋設物や空洞の調査に使用



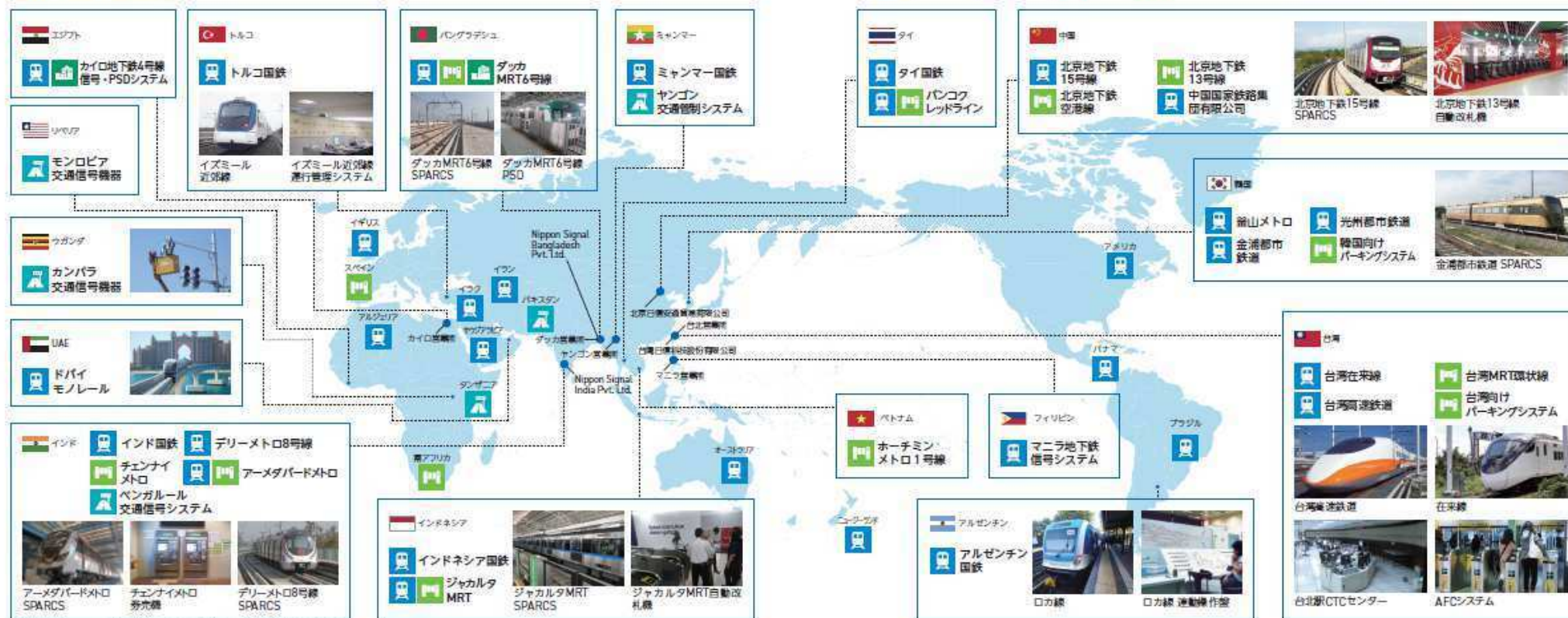
セキュリティ 新製品内覧会を実施

衣服の中に隠された持ち込み禁止物を
自動検知するボディスキャナ等を展示

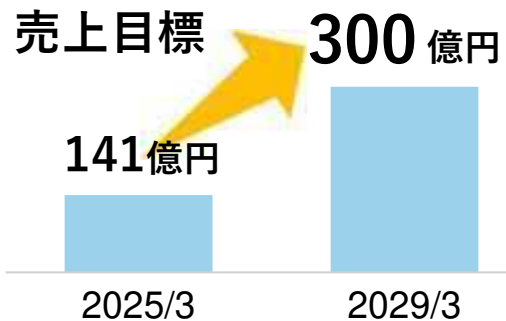


事業の概況

30の国と地域



※CBTC: Communication Based Train Control, 無線式列車制御システム
 ※SPARCS: Simple-structure and high-Performance ATC by Radio Communication System



国際事業のエリア別ターゲット（単位：億円）※

国・地域	東南アジア	インド	台湾	バングラデシュ	アフリカ	中国	その他	合計
売上高	300	230	200	130	100	80	80	1,000以上

※ 28中計期間(2024年度～2028年度)における、当社国際事業売上高のエリア別イメージ

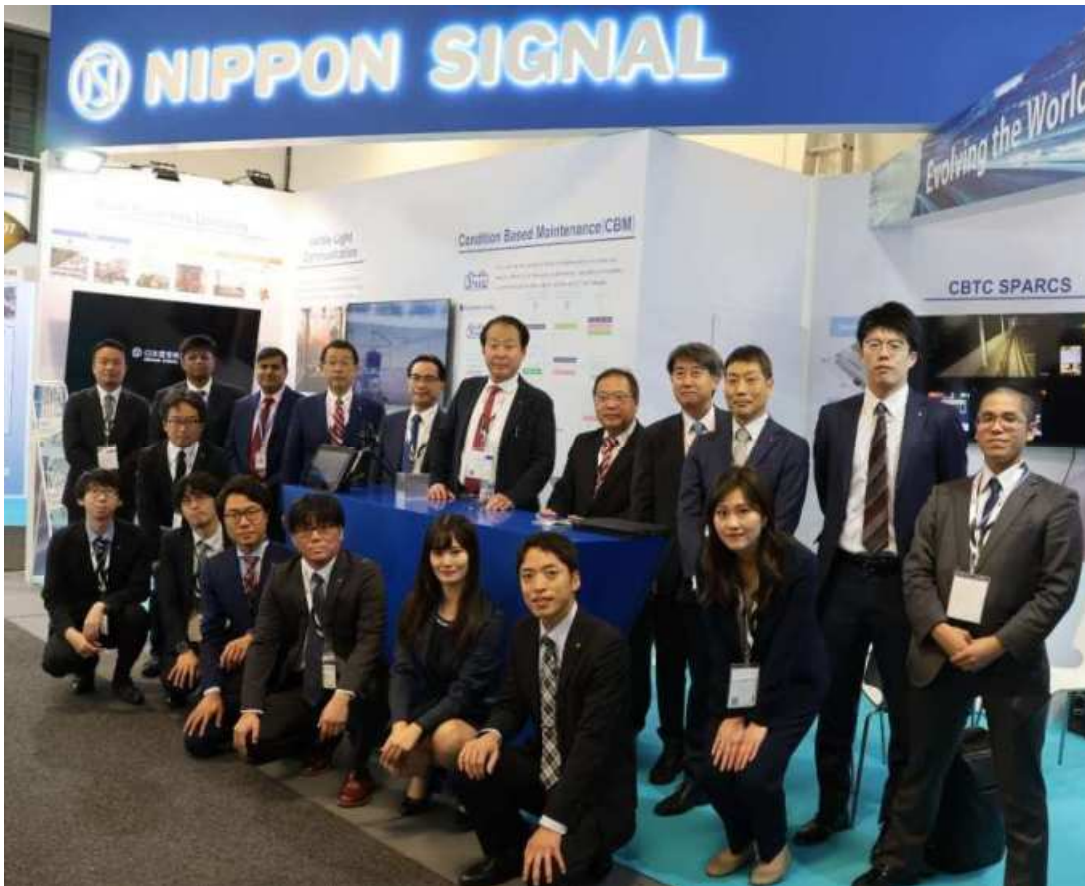
台湾 花東線複線化 設備更新・改修事業を受注（2023年度）

台湾東部の輸送力増強を目的とした
花東線（花蓮～知本間）を複線化する工事



世界最大の国際鉄道見本市「InnoTrans 2024」出展

2010年より参加しており、今回で7回目の出展



ウガンダ共和国に営業所を設立、インターンシップ受入

- ・ 急成長を続ける東アフリカ市場において営業活動を展開するため営業所を設立
- ・ JICA留学生のインターンシップ受入



ジャカルタ都市高速鉄道事業(第2期区間) 信号システム受注 無線式列車制御システム S P A R C S、電子連動装置、 P I D※システム、現場機器等を納入



※P I D (Passenger Information Display) …駅コンコースや、プラットフォームで列車情報を表示するための表示器システム。

【参考】セグメントマップ

開示報告	連結事業	単体		連結子会社	主な製品・サービス
		事業	内訳		
交通運輸 インフラ 事業	鉄道信号	鉄道 システム	民鉄・公営、JR	製造、保守、 工事、ソフト 設計等	ATC（自動列車制御装置）、電子連動装置、CTC（列車集中制御装置）、 リレー（継電器）、遮断機、転轍機、SPARCS（無線式列車制御システム）、 表示器、保守、工事、ソフト設計等
		国際	交通運輸		（単体鉄道システムのセグメント内訳同様）
	スマート モビリティ	スマート モビリ ティ	ITS ※3	製造、保守、 工事、ソフト 設計等	交通管制システム、信号灯器、信号制御器、保守、工事、ソフト設計等
			スマートモビリ ティ		12V制御モジュール（インフラから車両への路車間通信）、くるLink （ラストワンマイル自動運転サービス）等
		国際	交通運輸		（単体スマートモビリティのセグメント内訳同様）
	ICT ソリュー ション 事業	AFC ※1	AFC	AFC	製造、保守、 工事、ソフト 設計等
ST				ホームドア、保守、工事等	
セキュリティ ソリューション				セキュリティ機器（入退館ゲート等）、保守、工事、ソフト設計等	
パーキング				駐車場の機器、管制・管理システム、保守、工事、ソフト設計等	
国際			ICT	（単体 A F C のセグメント内訳同様）	
R&S ※2		R&S	ND ※4	製造、保守、 ソフト設計 等	防衛省関連機器、ソフト設計等
			ロボティクス		各種ロボット製品、保守、ソフト設計等
			センシング		3 D 距離画像センサ、ソフト設計等
		—	—	医療、 OA保守等	医療機器の販売・メンテナンス、OA保守、太陽光発電による売電等

※1 Automatic Fare Collection Systems

※2 Robotics & Sensing

※3 Intelligent Transport System（高度道路交通システム）

※4 National Defense

業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、これらの予想とは大きく異なる可能性があります。